

第13回東京(関東)医薬品安全性研究会開催のお知らせ

拝啓

時下、皆様におかれましては、益々ご清祥の事とお慶び申し上げます。

『第13回東京(関東)医薬品安全性研究会』についてご案内申し上げます。

今回のテーマは「副作用の評価法・症例報告書の書き方・副作用アセスメントのアプローチ」です。基調講演では、副作用アセスメントについて齊藤幹央 先生にご講演いただきます。特別講演では、山崎美保 先生に副作用アセスメントのアプローチについてご講演いただきます。臨床で副作用症例を経験した際の評価法、被疑薬のアプローチ、対応策のスキルアップを目指した研修会にしたいと考えております。ご多忙中とは存じますが、是非、多くの皆様のご参加を待ちしております。

敬具

記

- 日時：2025 年 11 月 16 日(日) 開演 13 時 00 分～16 時 00 分
- 方式：Web 開催 Zoom ウェビナー ライブ配信 (接続は 12 時 30 分より可能となります)
- 定員：100 名
- 会費：日本医薬品安全性学会会員 1,000 円、非会員 2,000 円、学生無料

開催プログラム

テーマ：「副作用の評価法・症例報告書の書き方・副作用アセスメントのアプローチ」

【一般講演】

13 時 00 分～13 時 30 分 座長：横浜薬科大学臨床薬剤学研究室 岡田賢二 先生
「抗菌薬による薬剤性肝障害の評価と対応」

演者：社会福祉法人聖隷福祉事業団 聖隷佐倉市民病院 薬剤科 平野公基 先生

13 時 30 分～14 時 00 分 座長：東京医療センター薬剤部 上田真也 先生
「施設入居高齢患者に発現した薬剤性せん妄への対応」

演者：株式会社アインファーマシーズ 関西支店 柴田未貴 先生

【基調講演】

14 時 00 分～15 時 00 分 座長：明治薬科大学 医薬品安全性学研究室 佐藤光利 先生
「医薬品副作用アセスメント ～知っておきたい考え方と解析手法の基本～」

演者：新潟薬科大学薬学部臨床薬学教育研究センター 教授 齊藤幹央 先生

【特別講演】

15 時 00 分～16 時 00 分 座長：東邦大学医療センター佐倉病院薬剤部長 土井啓員 先生
「症例を通じた副作用特定のための薬剤師の着眼点」

演者：独立行政法人労働者健康安全機構長崎労災病院 薬剤部長 山崎美保 先生

1. 参加申し込み方法

11月8日(土)までに、Google フォームにてオンラインでの事前参加登録をお願いいたします。

日本医薬品安全性学会ホームページ > 本学会認定研修会 > 研修会の開催予定 > 開催案内 の ページからも申し込み Google フォーム URL にアクセス可能ですのでご利用ください。尚、研修シール発行に限りがございますため、定員に達し次第、締め切らせていただきますことをご了承ください。

ご不明な点に関しましては、下記担当までご連絡ください。

東京(関東)医薬品安全性研究会事務局

担当：永野 yuma.nagano.lv9@ainj.co.jp (TEL:080-8280-5552)

2. 発行単位について

本研究会は以下の単位取得を予定しています。②と③はいずれか一つのお申込みとなります。

- ① 日本医薬品安全性学会の単位 (5 単位)
- ② 日病薬病院薬学認定薬剤師制度 (2 単位)
領域 IV-1 リスクマネジメント (医薬品安全管理)
- ③ 日本薬剤師研修センター (2 単位)



主催：東京(関東)医薬品安全性研究会 共催：日本医薬品安全性学会

後援：東京都薬剤師会 / 神奈川県薬剤師会 / 東京都病院薬剤師会/

神奈川県病院薬剤師 / 千葉県病院薬剤師会/ 練馬区薬剤師会